

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 ほっと一息、ぎふの旅キャンペーン事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光誘客推進課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111(内 3075)

E-mail：c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 61,660 千円 (前年度予算額：132,700 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附 金	その 他	県 債	一 般 財 源
前年度	132,700	132,700	0	0	0	0	0	0	0
要求額	61,660	0	0	0	0	0	0	0	61,660
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、外国人観光客は減少し、国内観光客も外出を自粛するなど、県内の観光事業者はこれまで経験したことのない非常に厳しい状況にある。

令和2年度、3年度と続くコロナ禍の中で、県内観光事業者の回復に向けた需要喚起は喫緊の課題である。

令和4年度も引き続き、(一社)岐阜県観光連盟と連携し、感染症対策を徹底しながら、宿泊促進キャンペーンをはじめとした観光需要喚起策を早期に実施することで宿泊需要を創出し、観光産業全体の底上げを図る。

(2) 事業内容

① VISIT 岐阜県での割引事業 (6,660 千円)

(一社)観光連盟の運営する体験コンテンツ販売サイトでの割引を実施

② バス事業者助成 (20,000 千円)

県内周遊型バス商品に対して助成を実施

③ 誘客プロモーション等支援 (30,000 千円)

地域の観光協会等が実施するプロモーション経費への支援を実施

④ 観光連盟実施プロモーション (5,000 千円)

観光連盟実施事業・支援制度周知のためのプロモーションを実施

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県全域にまたがる国内誘客の推進は県の事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	61,660	①VISIT 岐阜県での割引事業 ②バス事業者助成 ③誘客プロモーション等支援 ④観光連盟実施プロモーション
合計	61,660	

決定額の考え方

新型コロナウイルスの影響等を見極めつつ検討することとし、計上を見送ります

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

(2) 国・他県の状況

R 2 年度 国が GoTo トラベル事業を実施。他県も上乘せ補助等を実施。

R 3 年度 地域観光事業支援を実施。他県も同補助による宿泊割引等を実施。

国の新たな「今後の観光需要喚起策」により、R 4 も宿泊割引等を継続

(3) 後年度の財政負担

閑散期における緊急的なコロナ対策であることから、後年度の財政負担はない。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	ほっと一息、ぎふの旅キャンペーン事業費補助金
補助事業者（団体）	（一社）岐阜県観光連盟 （理由）旅行会社等補助が行える団体
補助事業の概要	（目的）岐阜県観光連盟等が実施する宿泊割引及び商品造成を支援する。 （内容） ①観光連盟の運営する「VISIT 岐阜県」での割引を実施 ②県内周遊型バス商品に対して助成 ③地域の観光協会等が実施するプロモーション経費への支援 ④観光連盟等が実施するプロモーション
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）定率 10/10（事業費、事務費） （理由）県の国内誘客事業と連携する事業
補助効果	岐阜県観光消費額の増大
終期の設定	終期 令和4年度 （理由）コロナ禍での緊急的な支援事業

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

閑散期（5月～7月、12月～3月）を中心に、県内宿泊者需要を創出し、コロナ前（R1年度）と比較して100%以上にする。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R1)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標	
					(R7)	達成率
① 観光消費額	2,933億円 (R1)				3,300億円 (R7)	%
② 観光入込客数（実数）	4,800万人 (R1)				4,900万人 (R7)	%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	千円	千円	207,711千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 県民及び東海3県を対象に、旅行会社を通じた割引販売を実施。 コロナ禍で当初計画の変更を余儀なくされるなか、宿泊キャンペーン全体で4万人泊を創出。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 	
3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価)	新型コロナの影響でインバウンドが見込めない中、国内宿泊を促進することは必須であり、事業者からの需要喚起策実施要望も強い。
3	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 	
3 : 期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり)	
2 : 期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成)	
1 : 期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%)	
0 : ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満)	
(評価)	新型コロナの感染状況により、計画どおりの事業実施ができないうなか、実施した時期の宿泊者数は大幅に伸びている。コロナ禍の収益減からの回復のためには、引き続きの需要喚起は必要。
2	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 	
2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	効率的に事業を実施できるスキームとしている。
2	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項
<p>新型コロナの感染拡大により、R2, 3は対象者が県民もしくは東海三県に限られ、効果が限定されていた。閑散期の平日の宿泊が特に厳しく、対策が必要である。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
<p>R3は、コロナ禍における緊急措置であり、単年度事業として実施していたが、国の新たな「今後の観光需要喚起策」により、GoToトラベルや地域観光事業支援終了後も、各都道府県が事業主体として実施していくこととなっている。</p>